

らんらん！ ライフライナー

宇部市立吉部小学校
学校図書館だより
2022年4月28日(木)

家読にご協力を！！

学校では、毎週月曜日の朝学の時間に「朝読書」、毎月1回木曜の朝学に彩音会の方々による「読み聞かせ」、図書室に新しく入れる本を選ぶ「選書会」等を行い、子ども達と本との触れ合いの機会を積極的に作っています。また、このような取組に加え、家族みんなで本に触れあう読書スタイル「家読(うちどく)」を今年度も実施したいと考えています。

つきましては、「家読」の実施にご協力いただきますよう、お願いします。

家読(うちどく)とは、「家庭読書」の略語で「家族ふれあい読書」を意味し、「家族みんなで読書することで家族のコミュニケーションを深める」ことを目的とした読書運動のことです。

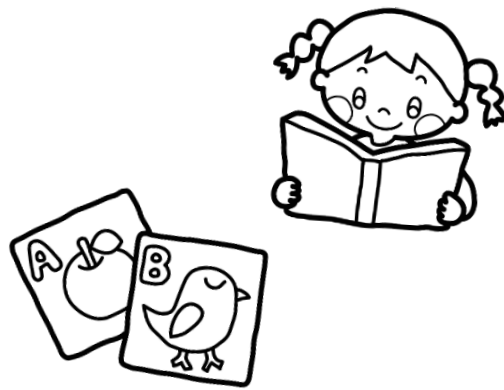
(家読推進プロジェクト公式ホームページより)

家読スタイルを決めよう！

「家読」のやり方に決まりはありません。我が家の家読スタイルを決めて取り組まれてください。また、下記のスタイルを参考にされてみてください。

【家読スタイルの例】

- ①家族で同じ本を読む。(一緒に声を出して読むなど)
- ②それぞれの本をそれぞれのペースで読む。
- ③大人が子どもに読み聞かせをする。
- ④子どもが大人に読み聞かせをする。
- ⑤兄弟姉妹で読み合う。
- ⑥読んだ本について感想を語り合う。
- ⑦おすすめの本を紹介し合う。
- ⑧大人が子どもに、本のテーマに関わる話をする。
- ⑨大人が子どもに、読書体験を語る(子どもの頃印象に残った本や当時の様子など)
- ⑩ハウツー本を家読し、実際に家族で作ってみる(料理・折り紙・昔遊びなど)。
- ⑪家族で図書館や本屋さんなどで本を選ぶ。



おすすめの本

「家族で同じ本を読んで感じたことを話す」なら、絵本がおすすめです。絵本は、家族全員が親しみやすく、物語と絵の両面から話題づくりができる利点があります。何よりも、絵本には人間が生きていく上で必要とされる様々なテーマが含まれていて、話題が豊富でもあります。

吉部小学校での「家読」の流れ

- 月に1回(最後の金・土・日曜日)に家読を実施。
- 学校の図書室・図書コーナーや市立図書館、家庭にある本など、ご家族で読む本を準備する。
- 取り組んだ結果を『家読カード』に記入する。
- 週明けに『家読カード』を学校に掲示してある「家読チャレンジコーナー」に掲示する。
- ※家読カードの記入方法は裏面をご覧ください。

今日、子どもたちには家読のやり方を上記の内容で説明しました。ご家族で本を中心に楽しく過ごせる時間をつくるために、ご協力をよろしくお願いいたします。

委員会児童のおすすめ図書コーナー

「吉部小学校の子ども達に、本を読んでほしい」という委員会の子どもの思いから、図書コーナーが設置しました。

楽しそうな本を選んだり、興味を持ってもらえたりするために、ポップをつくるなど、委員会の、子ども達が積極的に活動しています。

学校にお越しの際は、ぜひご覧ください。(場所:図書室前廊下)

